



落二中だより

平成31年4月12日

第1号

新宿区立落合第二中学校

新たな決意をもって

本校校長として5年目の春を迎えることになりました。この4年間、常に保護者や地域の皆様から温かく見守っていただくことで、生徒たちは健やかに成長し、輝き、新たな目標へと舵を取っていきました。特に、昨年度は生徒の自治活動が今まで以上に自主的、積極的に行われたことで、生徒会・委員会などで大きな成果を出すことができました。

本校はこれからも生徒一人ひとりが校歌にあるように、明朗健康であり、自信と正義をもち、平和と秩序を保って充実した学校生活を送れるよう教職員一同、教育活動を誠実に取り組んでまいります。

昨年度は開校70周年を迎え、新たな落二中を築くための第一歩の年でした。これからも、本校の素晴らしい伝統と歴史を引き継ぎながらより良い教育活動を行うために、保護者や地域の皆様に、本校の教育活動に深いご理解・ご協力・ご支援をいただけるようお願い申し上げます。

さて、4月9日(火)には多くのご来賓や保護者の皆様が出席される中、入学式が行われました。112名の新入生が、「新入生呼名」でとても元気よく大きな声での返事や態度が大変立派だなと感心しました。式辞では、何事も最後までやり抜くことと互いに思いやりの気持ちを持ち、助け合うことの大切さを生徒たちに伝えました。そして、新入生誓いの言葉と在校生代表の歓迎の言葉はとても頼もしく立派でした。



☆ 学年主任より ☆

「新しい仲間と学ぶ」

4月9日(火)1年生112人は皆様の温かい祝福に迎えられ、晴れて落合二中の一員となりました。緊張で固くなっている姿ばかりの様子でした。新入生「誓いの言葉」にあった「新しい仲間と学ぶ」喜びを、112人の生徒全員が日々感じられるように、教職員全員で協力し、しっかりと生徒たちの姿を見つめ、応援していきます。保護者の皆様には、これからの学校生活におきまして、ご理解とご支援をお願いする場面もたくさんあるかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(1学年より)

新年度を迎え、2学年は78名でスタートいたしました。25～26人で3クラスだった昨年度と違い、今年度は39人ずつの2クラス。名簿にズラリと並んだ名前、教室にびっしりと置かれた机からもわかる通り、このような学年・学級環境の変化には何かと大変そうなイメージばかりが思い浮かぶかもしれません。

しかし、これから何かうまくいかない時、何かできない時、その理由を「人数のせいにはしない」を合言葉に、1クラスの人が多いことをマイナスではなくプラスにできる学級・学年にしていきたいと強く思っています。そのために、一人一人をしっかり見守り、応援していこうと考えています。また、今年は学校外でも通用する力を育むため、まずは日々の学校生活の中での「凡事徹底」が学年の目標です。生徒の皆さん、保護者・地域の皆様、今年度もお世話になります。よろしくお願いいたします。

(2学年より)

「3年生になって」の作文を読むと、「去年できなかったことに挑戦したい」、「苦手なことにもあきらめずに取り組みたい」など、前向きな思いがたくさん書かれていました。私たち教職員一同、力の限り応援していきます。笑顔でいっぱい学年を一緒に作っていきましょう。

学年目標は『努力・自覚・感謝』としました。自分の希望する進路に向けて努力すること、最高学年としての自覚をもち行動に責任をもつこと、自分を支えてくれている人々へ日々感謝することを大切にしていってほしいと思います。卒業式の日、「二中で学校生活を送ってよかったな。」と心底思えるよう、授業・学校行事・部活動など全てのことに一生懸命取り組んでいってください。今年の皆さんのさらなる成長を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

(3学年より)

新年度を迎えて廊下には流れる風が新しいさわやか気持ちを運んでくれます。平成18年度に設置された通級指導学級「赤土学級」は、今年度より特別支援教室「まなびの教室」として生まれ変わります。校内では長年、保護者のみなさま、地域の方々に見守られ親しまれてきた「赤土学級」の名を残したいと思っています。人とのかわりを大事にそれぞれの生徒の学校生活がより豊かで充実したものになるよう、将来社会に出たときに必要となる力をつけていきたいと思っています。校舎1階の奥の教室も是非ご注目ください。今年度もよろしくお願いいたします。

(赤土学級より)